第22期（2020年3月期）
第２四半期決算のご説明

2019/11/14

Future Venture Capital

目次

1. 市場環境 ・・・・P.03

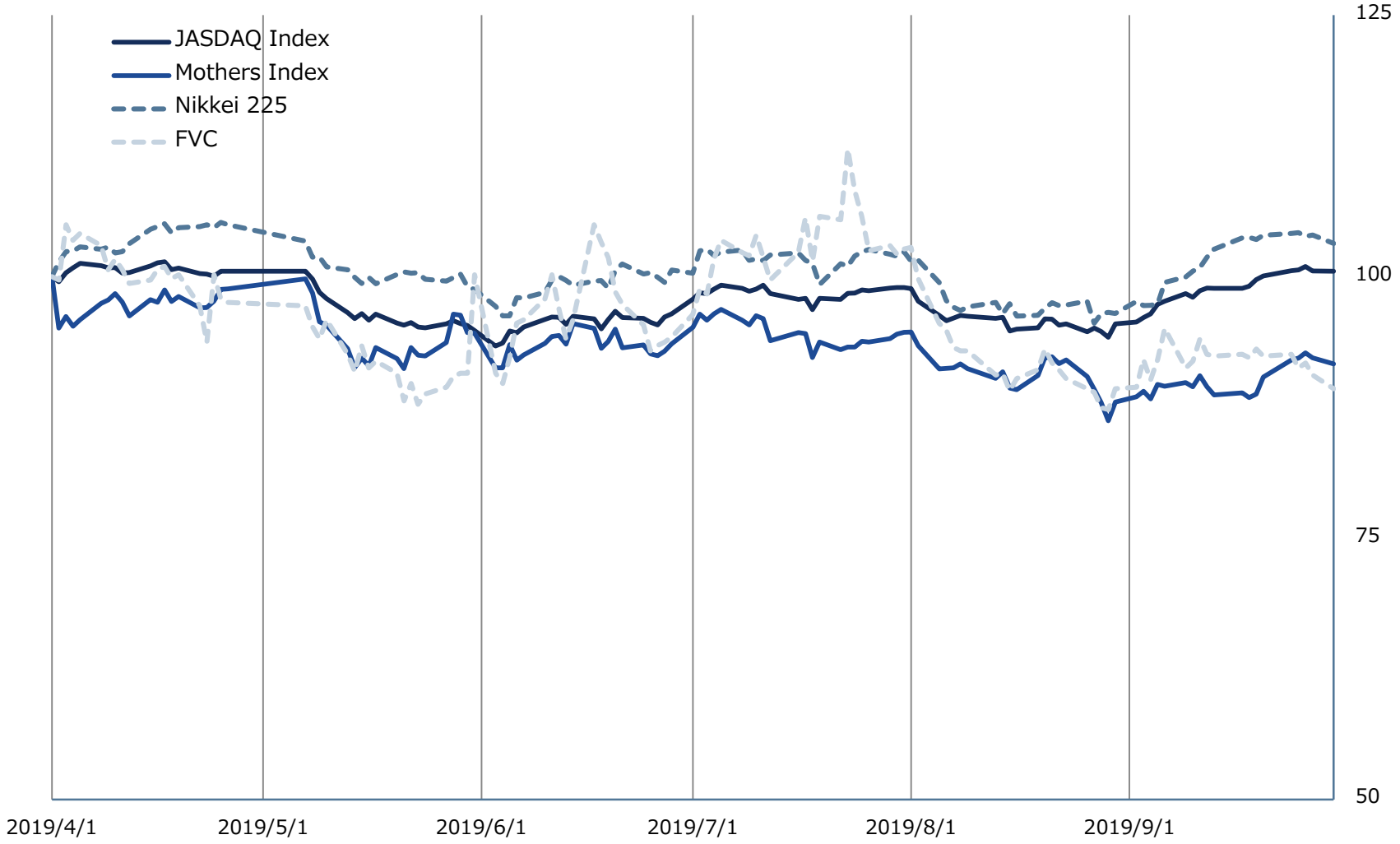
2. 決算説明 ・・・・P.08

3. 主な取り組み ・・・・P.19

市場環境

Future Venture Capital

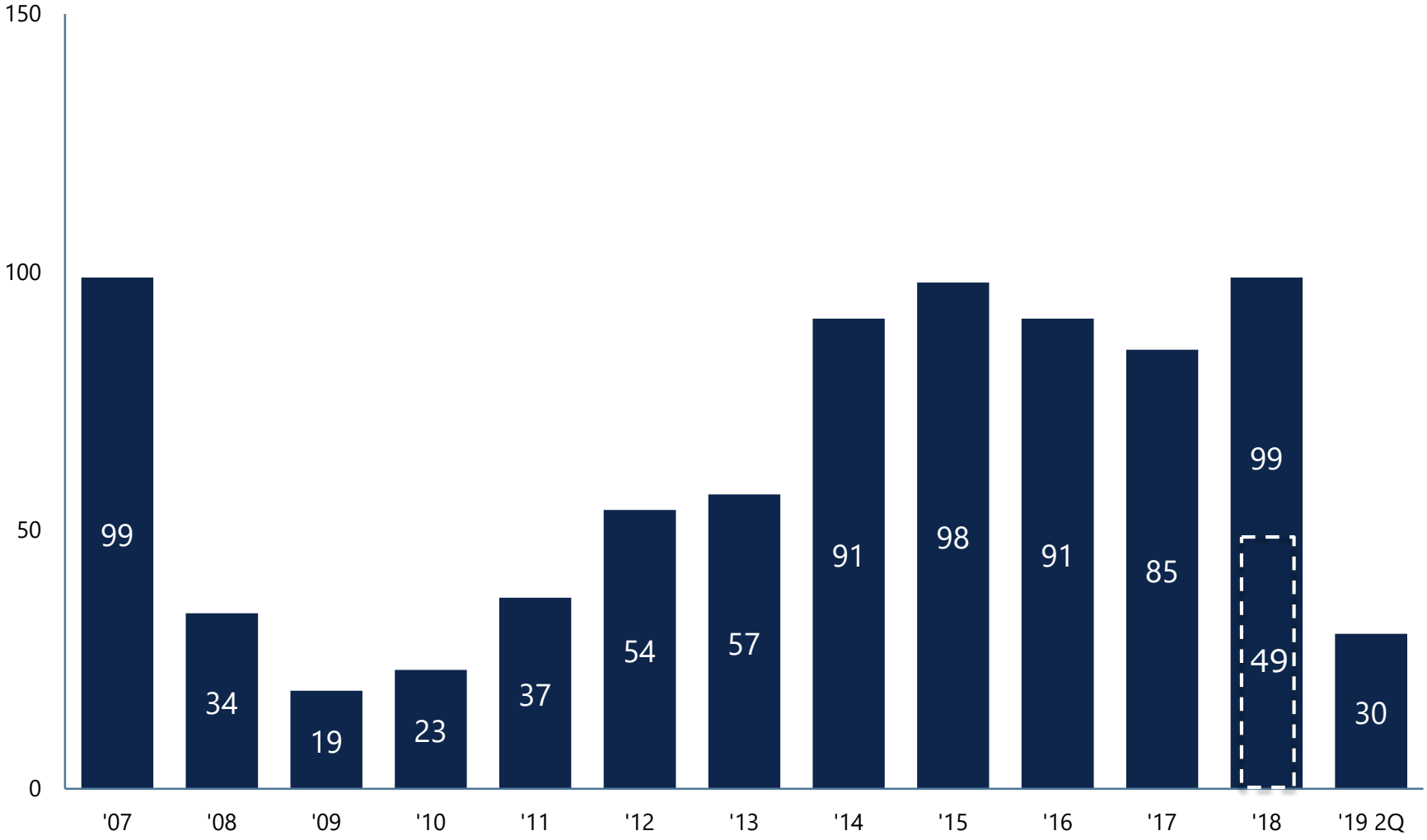
日経平均、新興市場は共に堅調に推移。



※2019年4月1日を100とした指数

Future Venture Capital

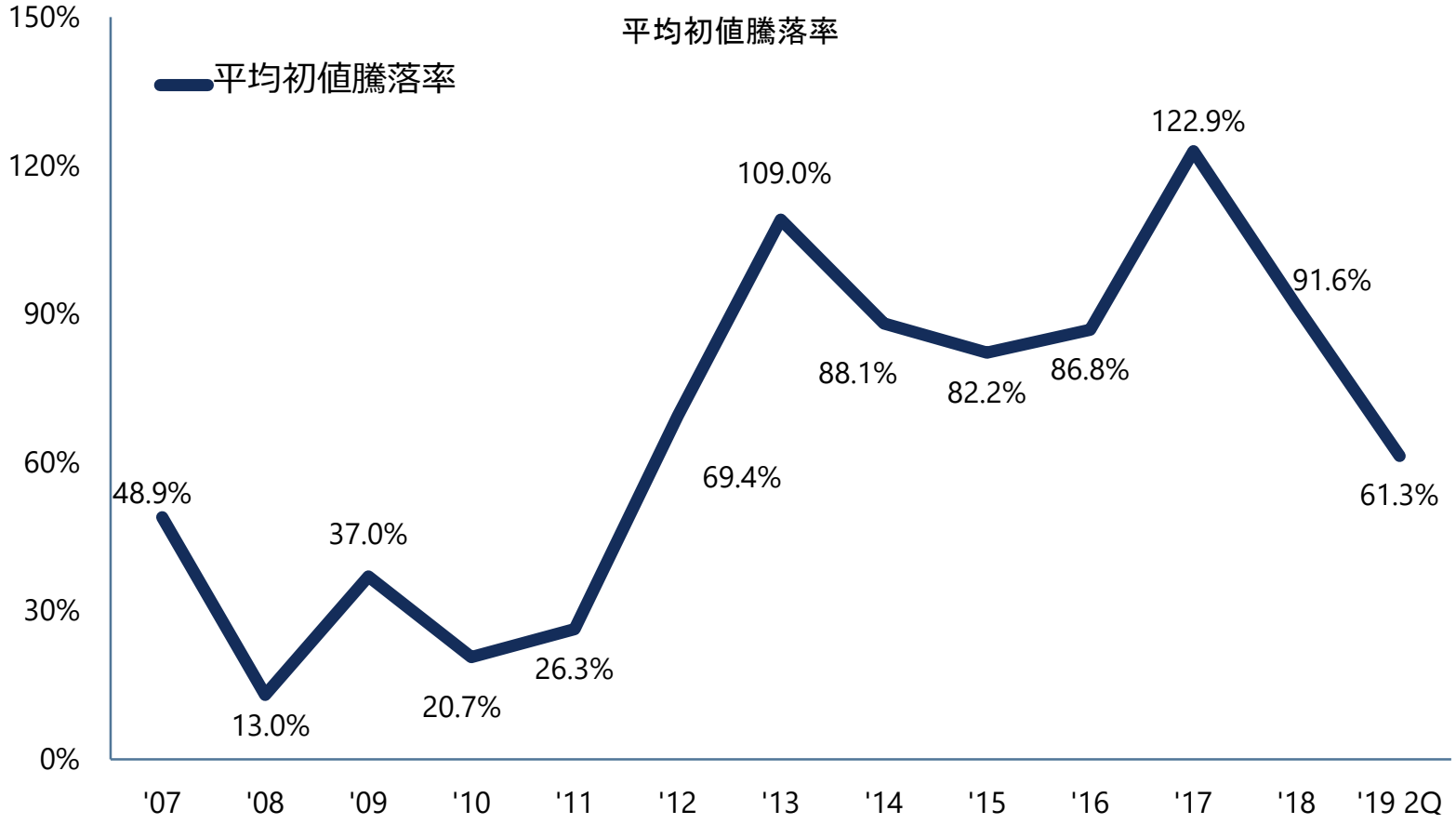
30社が上場し、前年同期の49社から19社減。



Future Venture Capital

上場した30社のうち、公募割れが３社のみであったが、平均61.3%と2012年以来の低水準となった。

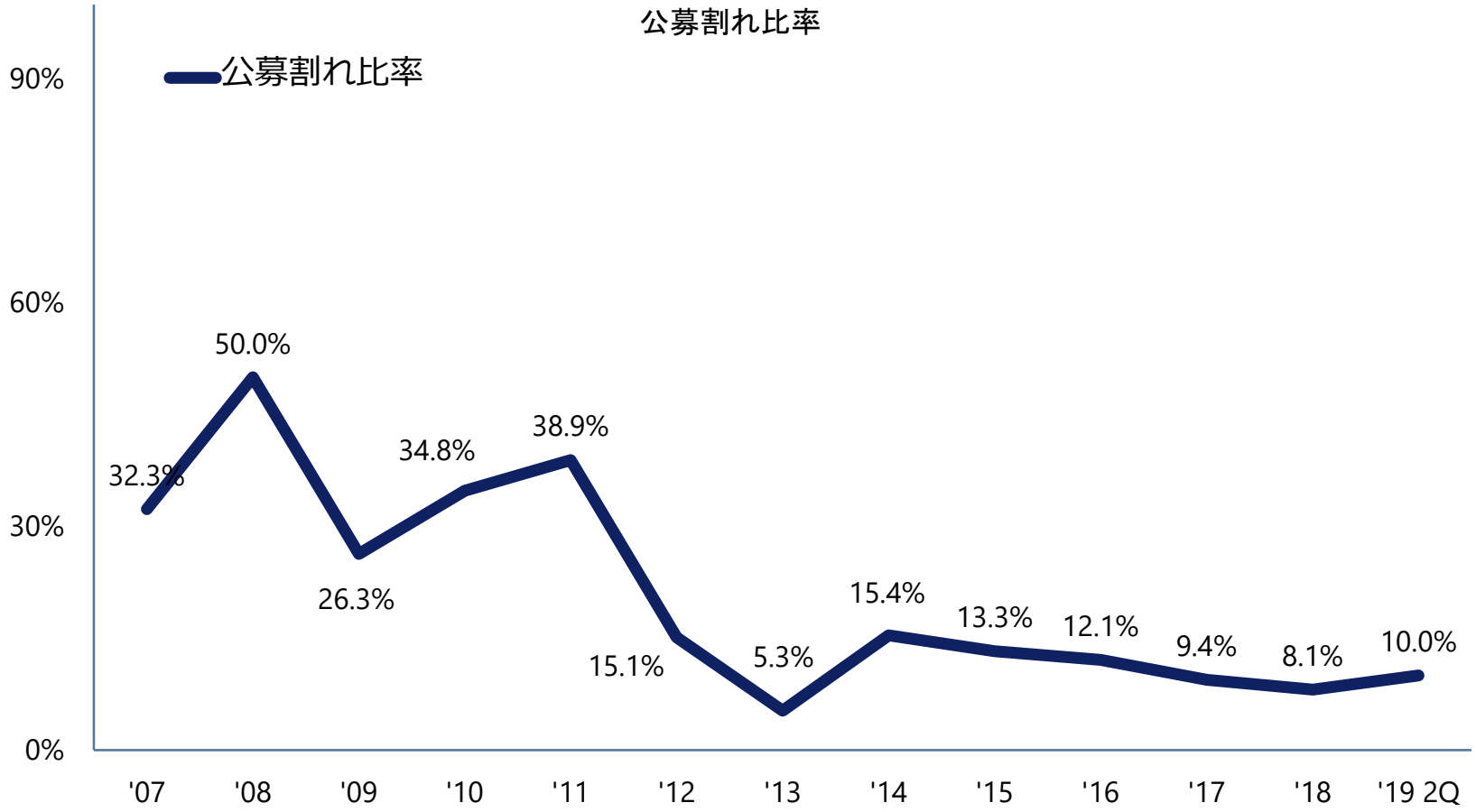
※初値騰落率 ： ｛ （ 初値 － 公募価格 ） ／ 公募価格 ｝ × 100 （ % ）



Future Venture Capital

2013年以降、初値が公募価格を下回るケースは限定的。

※公募割れ比率： 新規上場企業のうち、初値が公募価格を下回った企業の比率



決算説明

2.1.決算概要（PL）

Future Venture Capital

単位：百万円	第21期2Q (2018/4~2018/9)	第22期2Q (2019/4~2019/9)	対前期比
売上高	290	205	△85
営業損益	△61	△76	△15
経常損益	△37	△23	14
当期純損益	△40	△33	7
親会社株主に帰属する当期純損益	△78	△43	35

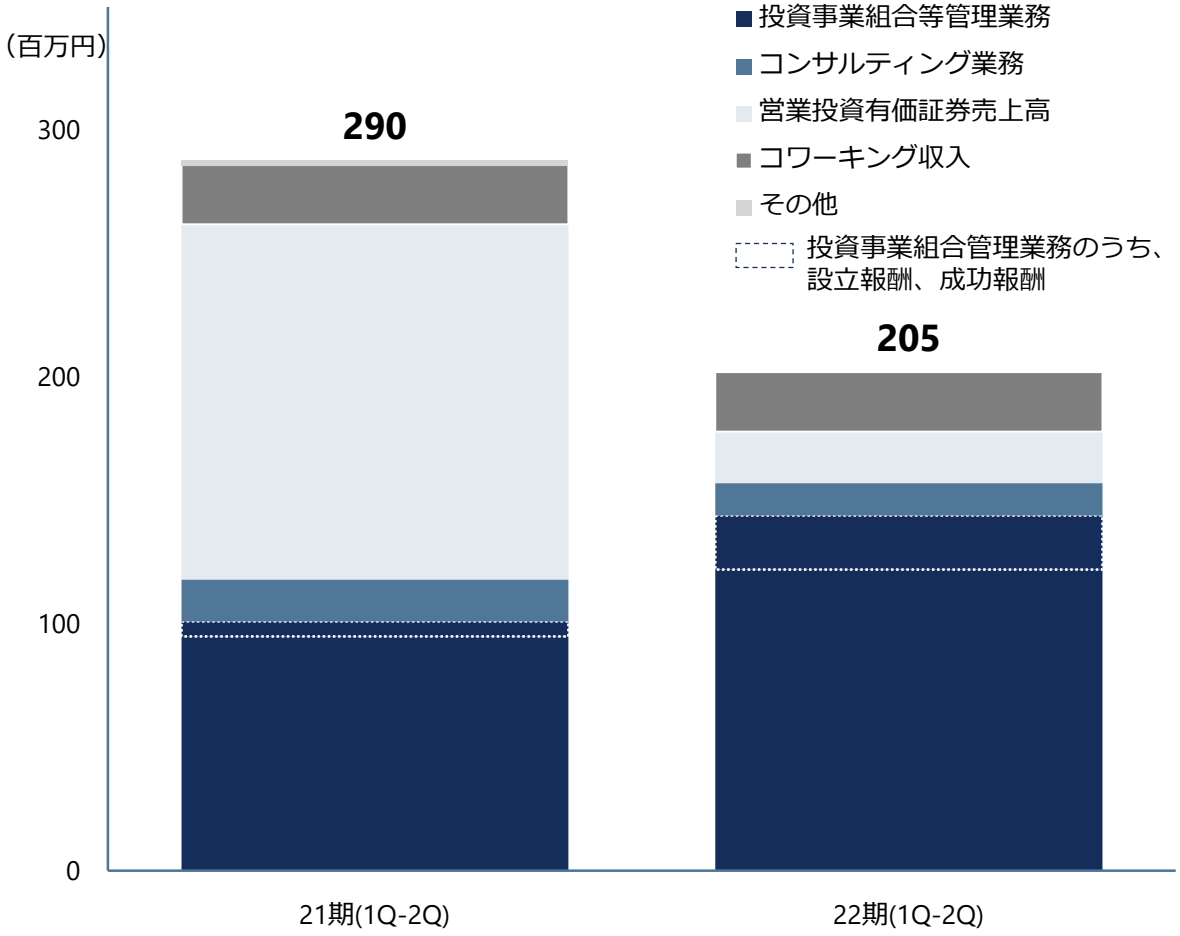
2.2.決算概要（BS）

Future Venture Capital

単位：百万円	第21期4Q (2019/3末)	第22期2Q (2019/9末)	対前期比
流動資産	2,307	2,160	△147
うち　現金及び預金	2,139	1,973	△166
うち　営業投資有価証券	124	135	11
うち　投資損失引当金	△0	△1	△1
固定資産	714	730	16
資産合計	3,021	2,891	△130
流動負債	171	134	△37
固定負債	30	28	△2
負債合計	202	163	△39
自己資本	2,628	2,591	△37
純資産	2,819	2,727	△92
総資産	3,021	2,891	△130
自己資本比率	87.0%	89.6%	2.6

Future Venture Capital

未上場企業の営業投資有価証券の売却が前年同期に比べ減少したこと等により、売上高は減収



前年同期比

▲85

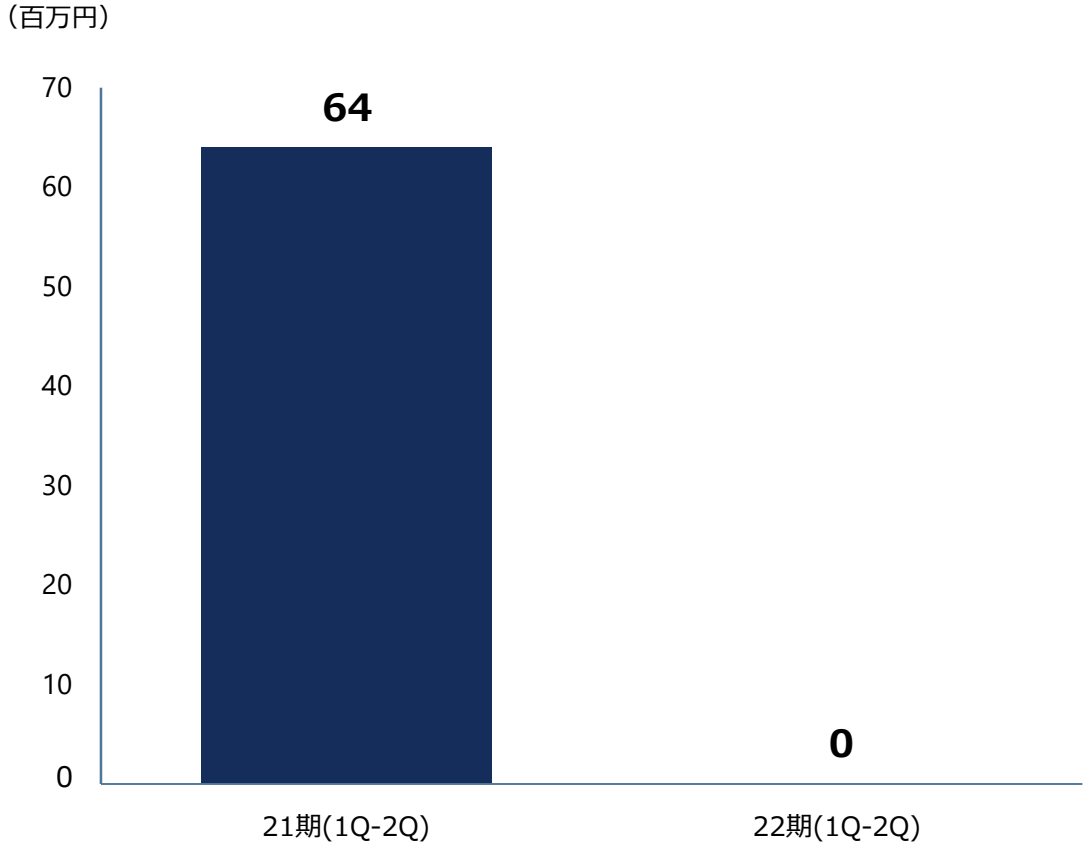
百万円

2.4.営業投資有価証券にかかる損益

Future Venture Capital

未上場企業の営業有価証券の売却については、前年同期に比べ売却額が減少したことに加え、投資損益についても減益となった。

※ 営業投資有価証券にかかる損益＝営業投資有価証券売却高－売却原価＋売却にかかる投資損失引当金戻入額－減損等＋減損等にかかる投資損失引当金戻入額－投資損失引当金繰入額



前年同期比

▲64

百万円

Future Venture Capital

FVCグロース二号ファンド（当社出資比率52.6%）より48百万円投資し、第20期（2018年3月期）に株式を一部売却。
第21期（2019年3月期）及び当第２Q累計期間には売却しておらず、180万株保有中。

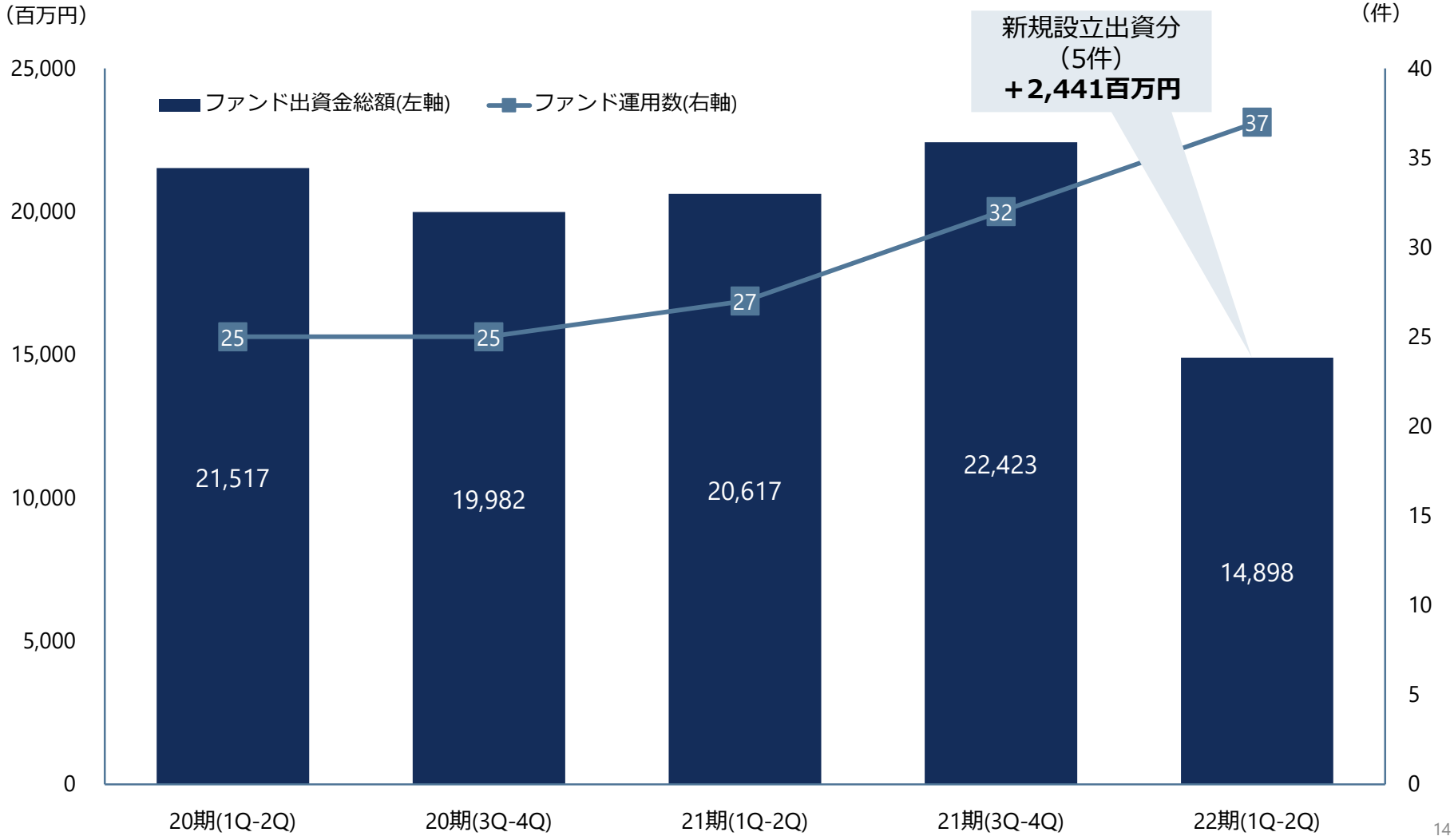
Robot of Everything

所在地	東京都文京区
事業内容	自律移動ロボットテクノロジー事業
資本金	1,302百万円
投資時点株価	20円
残株数	1,800,000株

2.6.ファンド運用状況

Future Venture Capital

新たに5本設立し運用総数が37本に、グロースファンドが分配完了し100億円減少するが、清算手続中であったため損益への影響は軽微



2.7.当社の収益バランス

Future Venture Capital

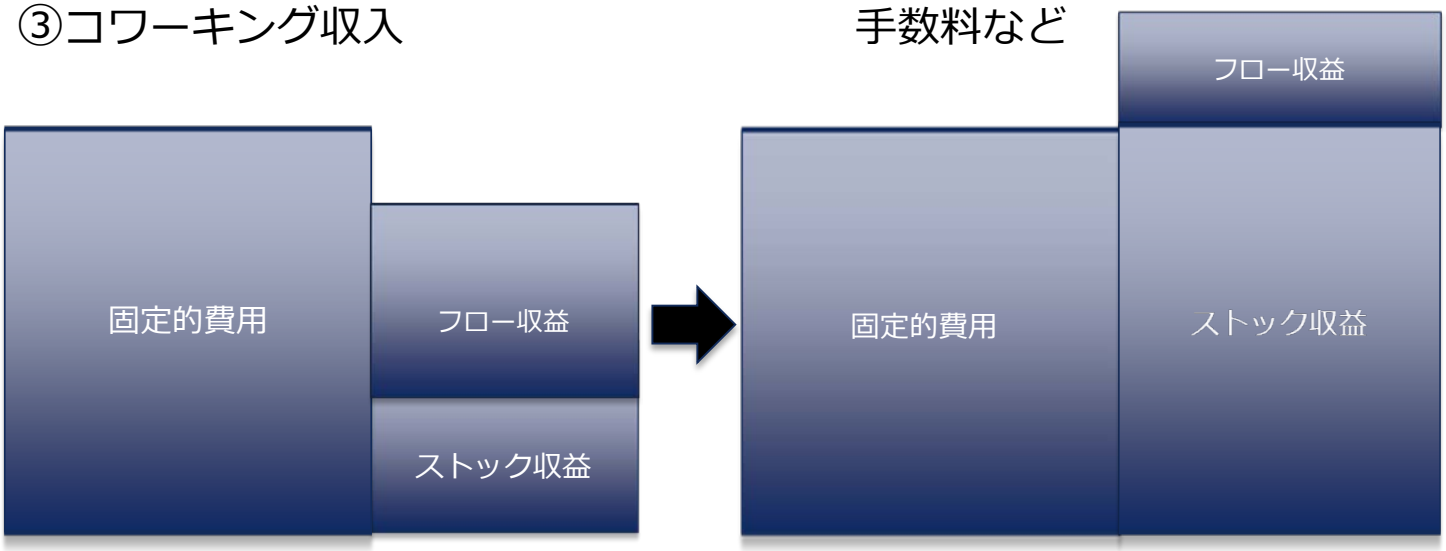
当社は固定的にかかる費用の全てをストック収益で賄うことで、経営の安定化を図るように進めており、固定費カバー率が52%から64%になり12ポイント改善された。

ストック収益

①管理報酬
②コンサルティングフィー
③コワーキング収入

フロー収益

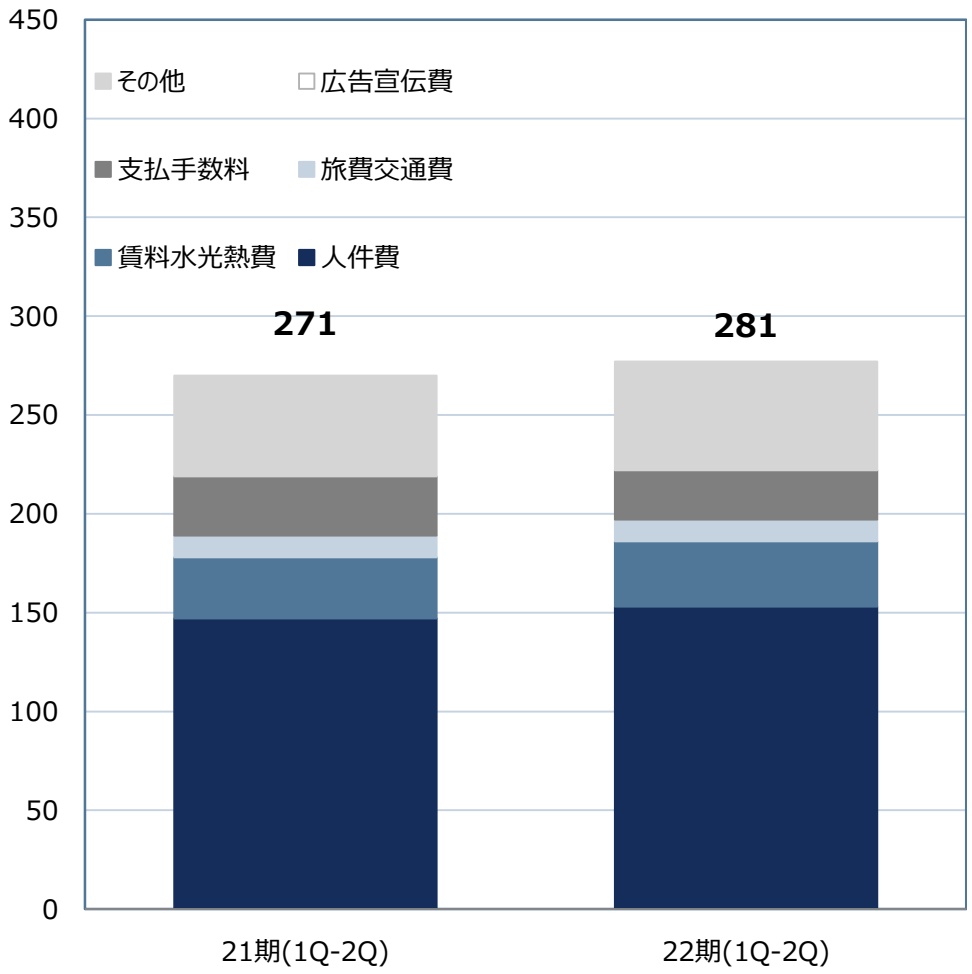
①営業投資有価証券売却益
②上場企業向けファンドの紹介手数料など



$$\text{固定費カバー率} = \frac{\text{ストック収益}}{\text{固定的費用}}$$

Future Venture Capital

固定経費は、前期比10百万円の増加



前年同期比

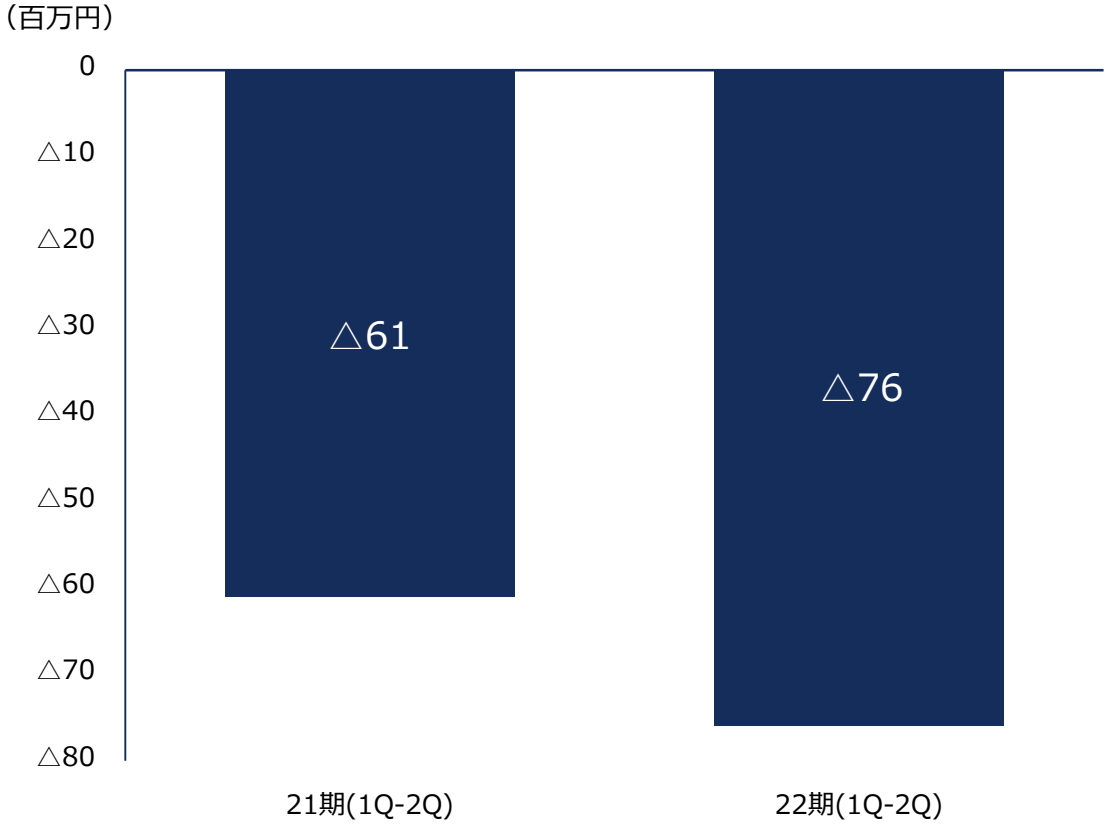
10

百万円

2.9.営業損益推移

Future Venture Capital

未上場企業の営業投資有価証券の売却が前年同期に比べ減少したこと等により、営業損益は前期比△15



前年同期比

▲15

百万円

Future Venture Capital

持分法適用関連会社であるデジアラホールディングスの業績が好調に推移し、持分法による投資利益を計上

※業績数値の詳細は非開示

所在地	神戸市東灘区向洋町6丁目9
事業内容	インターネットを利用した大型住宅設備機器等の販売　など
資本金	99百万円
取得株式数	5,080株（持株比率24.8%）
株式取得実行日	2017年9月28日,11月30日

持分法による投資利益

53

百万円

主な取り組み

2019/4～2019/9

FVCのファンドについて

Future Venture Capital

地方創生ファンド

出口戦略を必ずしもIPOやM&Aに限定せず、地域における創業率の向上、域内経済の活性化を実現するためのファンド

CVCファンド

コーポレートベンチャリングの取り組みの促進ツールとして、特定の事業会社と事業シナジーの高いベンチャー企業への投資を行うファンド

ベンチャーファンド

優れた技術やサービスを持ち、成長性が高く見込まれるベンチャー企業への投資を行うファンド

Future Venture Capital

地域のベンチャー企業を支援する「地方創生ファンド」を新たに4ファンド設立

（単位：百万円）

エリア	ファンド名	設立	総額
東京	かんしん事業承継支援ファンド(＊)	2019/5	300
長野	SUWASHIN地域応援ファンド1号	2019/8	500
香川 徳島	地域とトモニファンド	2019/9	701
大阪	おおさか事業承継・創業支援ファンド(＊)	2019/9	500

新規ファンド設立数

4本

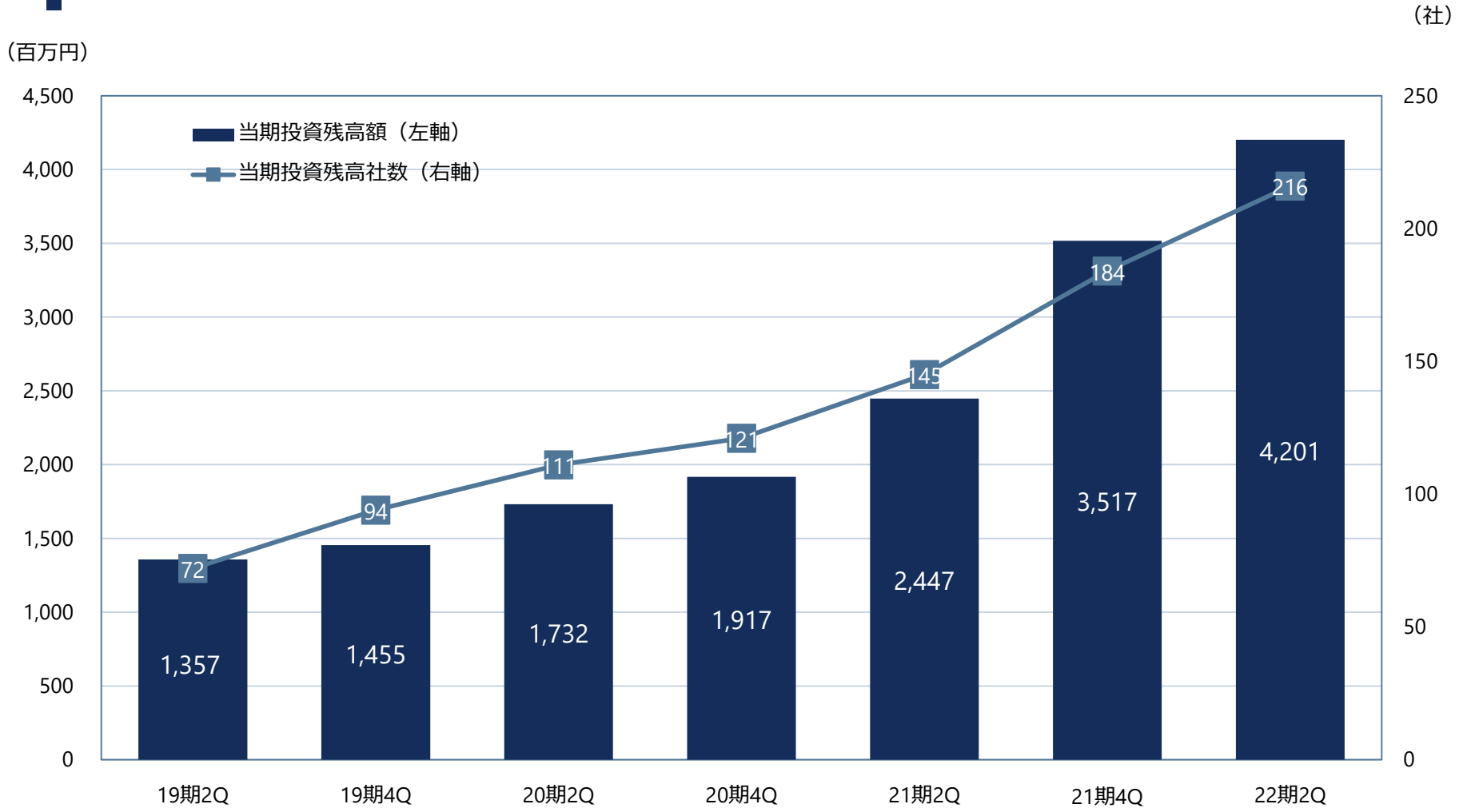
新規ファンド設立総額

2,001百万円

(＊) 後継者への事業承継に伴い、一時的引き受け先としてのファンドに対するニーズの増加に対応するため、「地方創生ファンド」の枠組みを活用した事業承継支援を目的とする「事業承継支援ファンド」を初めて設立。

Future Venture Capital

新設ファンドの増加により、投資残高社数／額は堅調に推移



Future Venture Capital

コワーキングスペース「FVC Mesh KYOTO」の機能強化の一環として、創業支援プログラム「FVC Founders Program」を開始

起業前・起業後概ね3年以内の成長志向の高い起業家を対象に、事業の成長を加速させることを目的として、FVCのインキュベーションマネージャー、投資担当者やマネジメントメンバー等が、セミナーと個別メンタリングを6ヶ月間実施。

ベンチャー企業支援メニューの一端を担う

Future Venture Capital

本資料は情報の提供のみを目的としており、当社が発行する有価証券及び当社が管理運営するファンドへの投資勧誘を目的とするものではありません。また、本資料に掲載されている事項は資料作成時点において入手した情報に基づいたものですが、その情報の正確性及び完全性を保証または約束するものではありません。今後、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。